

	<p>茨城県</p> <p>かさまし 笠間市</p> <p>「健康都市 かさま」</p>   <p>市章</p> <p>笠間市キャラクター 「いな吉」</p>	<p>【データ】平成30年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口： 75,260人 ・世帯数： 28,718世帯 ・面積：240.4km² (H28.10.1現在) ・市の花：きく ・市の木：さくら ・市の鳥：うぐいす ・特産物：笠間焼、稲田みかげ石、栗 ・イベント：つつじまつり、 笠間の^{ひまつり}陶炎祭、笠間のまつり、 菊まつり、新栗まつり
---	---	---

●笠間市の紹介

笠間市は、茨城県の中央部に位置し、豊かな自然・歴史・文化に彩られたまちです。

笠間焼や稲田みかげ石に代表される地域の産業や、栽培面積県内1位の栗をはじめ、小菊や梅など農産物の生産が盛んです。昨今は恵まれた交通基盤による産業の要衝として、地の利を生かした特色あるまちづくりを展開しています。

また当市は笠間稲荷神社、笠間焼など歴史的な資源・美術・伝統文化などの観光資源に恵まれており、GWに開催される陶炎祭は様々な窯元や陶芸家が参加する一大陶器市として、多くの観光客が来場されます。さらに豊かな自然環境を背景とした桜やつつじ、藤、菊などが美しく咲き誇る四季折々の自然の表情も笠間の魅力のひとつです。



(つつじまつり 4月)



(市民の健康を守るため結成した「健康戦隊ヘルシーズ」)



(平成24年度に、地元高校の協力により作成した「健康都市かさま」のロゴマーク)

●笠間市の健康都市の歩み・健康都市宣言など

笠間市では、未来に向けて、安心を感じ、かつ希望に満ちた地域づくりを地方から実践し、発信していくという趣旨のもと、平成24年2月29日に笠間市に住むすべての人が、健康で元気に、幸せな人生を送ることを願い「健康都市かさま」を宣言しました。

平成30年4月には、市立病院・保健センター・地域包括支援センターが集まった「地域医療センターかさま」がオープンしました。「語る」「集う」「学ぶ」をコンセプトとし、日常的に「医療・保健・福祉」に触れることができる場を提供します。

●笠間市における健康都市の特徴的な施策

◎「笠間市健康づくり計画」(後期計画)の策定

平成24年度から10年間を計画期間とし、前期5年(H24年度～H28年度)の取り組みを評価・見直し、笠間市の現状と国や県の動向を踏まえた上で、健康寿命の延伸を目指し、後期5年(H29年度～H33年度)の目標を改めて作成しました。「健康増進計画」「食育推進計画」「母子保健計画」「歯科保健計画」の4つを一体的に策定することにより、健康づくりの総合的な計画としました。

<健康増進計画>

「健康寿命の延伸」を目指して、市民が自らの健康づくりに取り組めるよう支援します

・生活習慣病予防に重点を置いた特定健康診査・特定保健指導の積極的な受診を促し、がん検診推進のため、特定年齢者に対し、検診費用の無料化・個別の受診勧奨を行い、疾病の早期発見と受診率の向上を図っています。また、市内ヘルスロードを整備し、利活用に向けたイベントを開催しながら、健康づくりとしてウォーキングの定着を行っています。

<食育推進計画>

「食べる力」＝「生きる力」を育む食育の環(わ)を広げます

・笠間市健康づくりの推進団体であるヘルスリーダーにより、各地域において「食」の体験を通しての食育推進や生活習慣病予防の実践事業、食育ネットワークによる幼児期から学童期の食育推進事業を展開しています。

<母子保健計画>

すべての妊産婦が、すべての親と子が、健やかに生活できる地域を目指します

・妊娠期から出産・育児までの総合案内窓口として、子育て世代包括支援センターを設置し、周産期の相談支援から子育て期まで、関係機関が連携し、切れ目ない支援ができる体制整備に取り組んでいます。

<歯科保健計画>

いつまでもおいしく食べるために“健口づくり”を推進します

・妊娠期から高齢期のライフステージごとに、口腔ケア事業を推進します。
・高齢者の歯科口腔保健として、在宅訪問歯科に加え、施設職員を対象とした口腔ケアの研修会を実施し、入所者の口腔管理を行い、疾病の重症化予防を図ります。

担当：保健福祉部 健康増進課

TEL 0296-77-9145